が、赤なとれば

教育振興事業のご案内





はじめに

教職員の皆さま方には、日頃から大変お世話になり、ありがとうございます。

今年度も、日本教育公務員弘済会富山支部では、教育振興事業の応募がしやすくなるよう「**弘済会とやま**『教育振興事業のご案内』」を作成しました。今年度から新たに弘済会富山支部ホームページに掲載したこの電子ブックをご覧いただき、ご活用いただければ幸いです。

さて、表紙について説明します。表紙に描かれているイラスト画は、小学校、中学校、高等学校へと夢や希望を追い求めて、健やかに成長していく子どもたちの様子を表しています。

子どもはどの子も等しく、ぎゅっと手を握りしめて生まれてきます。そして、その握りしめられた手の中には、将来の夢や希望が抱かれているのですが、手のひらを広げた瞬間にその夢や希望は見えなくなってしまうそうです。

子どもたちは先生や友だちと出会い、先生の教えのもと、友だちとの学びを大切にしながら、自ら目標をもって努力したり新しいことに果敢にチャレンジしたりすることで、自分が生まれたときに握りしめていたはずの夢や希望を追い求めていきます。才能や個性を伸ばしながら歩み続ける子どもたちの姿なのです。

また、柔らかな題字の **弘済会とやま** は、"ぬくもり" のある教育を子どもたちと共に創りあげておられる"とやま"の先生方に、少しでも弘済会の事業が役立つことができればありがたいという、私たち弘済会富山支部の想いを込めたものです。 夢ひろがる子どもたちのために、今後とも、教職員の皆さまに末永くご愛顧いただける事業を展開してまいりますので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



☆公益事業であります教育振興事業は、全教職員を対象に、 「公募申請」「選考」「結果の公表」「成果の報告」の4つ の過程を踏み事業を展開しています。

【協力】

イラスト画: 濱井 理先生(富山県教職員) 題 字: 青山拓也先生(富山県教職員)

> 令和 6 年 4 月吉日 公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部

「弘済会とやま」教育振興事業のご案内

令和6年度版「弘済会とやま」教育振興事業のご案内は、

『電子ブック』になりました。

弘済会富山支部HPからのWEB申請(報告)

教育振興事業のWEB申請(報告)が 可能になります。

Q

令和6年4月1日からの申請は

1 WEB申請(報告)

おすすめ

当会HPの「申請(報告)フォーム」に申請書、 必要資料を添付して送信(P3参照)

WEB申請 (報告) の場合

申請書(報告書)に「職印」とあるものは、押印後、 PDFファイルにしてフォームに添付して送信してください



または

2 申請書(報告書)を郵送(または手交)

申請書(報告書)を作成の上、必要資料と共に郵送又は手交

問い合わせ・送付先

〒939 -8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内 公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部宛 TEL(076)464 - 3703 ◇HP(ホームページ)のそれぞれの事業の申請(報告)フォームに 必要資料を添付して申請(報告)できます。

※WEB申請(報告)ができるのは下の6事業です。



申請締切 <u>令和6年5月31日(金)</u> (WEBのシステム上24:00を過ぎると) 申請できなくなります。

報告締切 事業により異なります。



頁	
1	はじめに
2 • 3	「弘済会とやま」教育振興事業のご案内・HPからのWEB申請
PART 1	教育研究助成事業 WEB申請(報告)可
7	令和6年度 教育団体研究助成要項
8	教育団体研究助成申請書 [様式]
9	教育団体研究助成申請書〈記入例〉
10	教育団体研究助成報告書[様式]
11	教育団体研究助成報告書〈記入例〉
12	情報の窓 I 令和 5 年度 教育振興奨励助成贈呈式から
13	令和6年度 教育研究大会助成要項
14	教育研究大会助成申請書 [様式]
15	教育研究大会助成申請書〈記入例〉
16	教育研究大会助成報告書 [様式]
17	教育研究大会助成報告書〈記入例〉
18 • 19	令和6年度 教育実践研究論文助成要項
20	教育実践研究論文助成(学校部門・個人部門) 申請書[様式]
21	教育実践研究論文助成(学校部門・個人部門) 申請書〈記入例〉
22	教育実践研究論文助成申込書 [様式]
23	教育実践研究論文助成申込書〈記入例〉
24	教育実践研究論文助成(論文)の書き方
25	教育実践研究論文助成ア:要旨様式例①
26	教育実践研究論文助成 イ:本文様式例①
27~31	教育実践研究論文助成論文例
32 • 33	令和6年度 課題研究助成要項

34	課題研究助成申請書[様式]
35	課題研究助成申請書〈記入例〉
36	課題研究助成申請書・報告書[様式]
37	課題研究助成申請書・報告書〈記入例〉
38	課題研究助成報告書[様式]
39	課題研究助成報告書〈記入例〉
40	課題研究助成報告書例 *『令和5年度 実践報告集』から
41	令和6年度 教育助成要項
42	教育助成申請書 [様式]
43	教育助成申請書〈記入例〉
44	教育助成報告書[様式]
45	教育助成報告書〈記入例〉
46	教育助成報告書例
47	領収書
48	情報の窓I [文化講演会] 令和5年度「富山の魅力発見講座VI」に参加して
PART2	教育文化事業 WEB申請(報告)可
49	令和6年度 文化振興助成要項
50	文化振興助成申請書 [様式]
51	文化振興助成申請書〈記入例〉
52	文化振興助成報告書[様式]
53	文化振興助成報告書〈記入例〉
54	令和6年度 文化講演会「富山の魅力発見講座Ⅵ」要項
PART3	奨 学 事 業 申請(報告)は郵送・手交のみ
55	令和6年度 貸与奨学生募集要項
56	貸与奨学金申込書
57	令和6年度 給付奨学生募集要項
58	給付奨学生申請書 [様式 1]
59	高等学校等給付奨学生推薦書(学校用)[様式 2]
60	給付奨学生成果報告書 [様式 3]
61	令和6年度 大学給付奨学生(予約型)募集要項
62 • 63	令和6年度 大学給付奨学生(予約型)申請書
64	令和6年度 大学給付奨学生(予約型)推薦書



PART 1

教育研究助成事業

\$	教育団体研究助成	7
\$ 3	教育研究大会助成	3
\$3	教育実践研究論文助成 ······1	8
\$ 3	課題研究助成	2
\$ 3	教育助成4	.1
\$	領収書4	.7

令和6年度 教育団体研究助成要項

教育団体研究助成は、教育の振興に寄与すると認められる団体の特に有益な研究・ 活動に対し助成を行う事業です。

- 1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部
- 2. 助成要件
- (1) 助成の趣旨

富山県の園長会、校長会、教頭会、教育研究会等の団体が令和6年度に行う、 有益な研究・活動を対象とした助成を通して学校教育の向上発展に寄与します。

(2) 応募対象

教育関係団体及び教育研究団体

- ① 応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び報告を行うことを条件とします。
- ② 1年間(4月1日から3月31日)で完了する研究・活動等とします。
- (3) 応募期間 令和6年4月1日(月)~令和6年5月31日(金)必着
- (4) 助成金額 各団体からの申請に対し事業規模等を考慮し、30万円以内の助成を行います。
- (5) スケジュール

令和6年6月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。

7月上旬 採否の結果と助成時期を通知します。

10月上旬 贈呈(表彰)式を開催します。

11月中旬 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。

- 3. 申請について (WEB申請可能です) 2、3 ページ参照
- (1)「教育団体研究助成申請書」と「団体の会則」及び「役員名簿」、「前年度の会計報告書」等の資料を添えて申請してください。
- (2) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。
- (3) 適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- 4. 選考基準について

事業の公益性・社会性・適正性・必要性・実現性の基準により選考します。

- 5. 報告について (WEB報告可能です) 2、3 ページ参照
- (1) 研究・活動等の終了後に経過・結果等に関する報告を提出してください。
- (2) 領収書のコピーも必ず添付してください。尚、<u>領収書は助成額以上</u>となるようお願いします。
- (3) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。また、成 果資料等があれば添付してください。なお成果資料等は支部が公表できるもの とします。
- **6. 報告の提出日** 令和7年2月28日(金)までに提出してください。
- 7. 送付先 (問い合わせ先) 〒 939-8084 富山市西中野町 1-1-18 オフィス西中野内 公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 Tax (076)464-3703

年 月 日

職印

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

₹

所在地

団体名

Tel () —

代表者

職名

氏 名

教育団体研究助成申請書

下記のような研究活動を実施するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙 計画資料を添えて申請いたします。

記

- 1. 活動趣旨(概要)
- 2. 研究活動名
- 3. 組織概要

構成職種

構成人員

他団体との連携

- 4. 申請金額
- 5. 主な内訳

※飲食費等は助成の対象になりません。

6. 添付書類

「個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

₹ 930-△△△△

所在地 富山市○○町-△△

団体名

Tel (076) $\triangle \triangle \triangle - \triangle \triangle \triangle \triangle$

代表者

職 名 会長

氏 名 魚津 一郎

職印

教育団体研究助成申請書

WEB申請の場合 押印後、PDFファイルにしてフォーム に添付して送信してください

下記のような研究活動を実施するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙 計画資料を添えて申請いたします。

記

- 1. 活動趣旨(概要) 富山県○○教育の振興及び研修……資質向上を図る。
- 2. 研究活動名 学校経営課題把握のための調査研究活動
- 3. 組織概要

構成職種富山県小・中学校長

構成人員 △△△名

他団体との連携 富山県〇〇会、東海・北陸地区〇〇会

- 5. 主な内訳 会誌作成 △△△円

助成の対象にならないもの

- 1 営利目的又は営利につながる可能性の大きいもの
- 2 他の機関からの委託によるもの
- 3 既に終了しているもの
- 4 自己の財源によりできるもの

助成対象外とする費用

- 1 申請者本人の人件費等
- 2 汎用性のある機器等の購入費
- 3 懇親会等の飲食費
- 4 直接関係がない物品等

6. 添付書類

教育団体研究助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 団体名

代表者 職 名

氏 名

職印

連絡先(TEL)

下記のとおり領収書を添えて報告します。

助成金額			
研究活動名			
活動期間			
研究活動の 概 要			
助成金の			
使 途 明 細			
	※飲食費等は助成の対象になりません。	(計	円)

教育団体研究助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 富山市○○町-△△

団体名 富山県小学校長会

代表者 職 名 会長

氏 名 魚津 一郎

してフォームに添付して送 信してください /

押印後、PDFファイルに

WEB報告の場合

職印

連絡先(TEL) 076-000-000

下記のとおり領収書を添えて報告します。

助成金額	
研究活動名	
活動期間	令和6年4月1日~令和7年3月31日
研究活動の 概 要	1 研究主題 新たな知を拓き、人間性豊かな社会を築く、日本人の育成を目指す小学校教育の推進 一主体的・共同的に学び、心豊かに未来を生き抜く児童を育成する学校経営 — 2 研修内容と成果 別紙 「令和6年度研究紀要」参照
	・研究紀要の印刷製本費 △△△円
助成金の使途明細	
	※飲食費等は助成の対象になりません。 (計 △△△ 円)

〈添付書類〉 ・領収書(コピー)A4 用紙に貼付してください。

・成果資料「研究大会のまとめ」等

WEB報告の場合:報告書および添付書類は PDF 形式にてフォームより送信してください。

情報の窓Ⅰ



令和5年度 教育振興奨励助成贈呈式から 令和5年10月24日 会場:高志会館





弘済会富山支部 支部長 青木 正邦 「式 辞」



教育振興事業選考委員会 委員長 神川 康子 様 「励ましのことば」



富山県教育委員会 教育次長 中﨑 健志 様 「励ましのことば」



富山市立浜黒崎小学校 校長 谷岡 一直 様 「お礼のことば」



「教育団体研究助成」贈呈



「経営改善奨励賞」贈呈

令和6年度教育研究大会助成要項

教育研究大会助成は、本県を会場とする教育にかかる全国大会及びこれに準ずる 大会、また、文部科学省、県教委、市町村教委、幼・小・中・高校教育研究団体の 指定による大会、並びにこれに準ずると認められる大会の開催に当たり、その内容 と大会規模に応じて予算の範囲内で助成を行う事業です。

- 1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部
- 2. 助成要件
- (1) 助成の趣旨

富山県の教育関係団体及び教育研究団体が令和6年度に行う、有益な研究大会を対象とした助成を通して学校教育の向上発展に寄与します。

(2) 応募対象

教育関係団体及び教育研究団体

- ① 応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び報告を行うことを条件とします。
- ② 1年間(4月1日~3月31日)で完了する研究・活動等とします。
- (3) 応募期間 令和6年4月1日(月)~令和6年5月31日(金)必着 ※選考委員会後に応募を希望される場合には、連絡をお願いします。
- (4) 助成金額 大会規模に応じて、3万円~10万円程度の助成を行います。
- (5) スケジュール

令和6年6月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。

7月上旬 採否の結果と助成時期を通知します。

11月中旬 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。

- 3. 申請について (WEB申請可能です) 2、3 ページ参照
- (1)「教育研究大会助成申請書」と「計画資料」を添えて申請してください。
- (2) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。
- (3) 適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- 4. 選考基準について

事業の助成要件等により、選考を行います。

- 5. 報告について(WEB報告可能です)2、3ページ参照
- (1) 大会の終了後に経過・結果等に関する報告を提出してください。
- (2) 領収書のコピーも必ず添付してください。尚、<u>領収書は助成額以上</u>となるようお願いします。
- (3) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。また、成 果資料(「研究大会のまとめ」等)があれば添付してください。なお、成果資 料等は支部が公表できるものとします。
- 6. 報告の提出日 大会終了後2か月以内に提出してください。
- 7. 送付先 (問い合わせ先) 〒 939-8084 富山市西中野町 1-1-18 オフィス西中野内 公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 TEL (076) 464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

教育研究大会助成申請書

下記のように研究大会を開催するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙「計画資料」を添えて申請いたします。

記

- 1. 大会名
- 2. 開催期日
- 3. 主催者名
- 4. 後援者名
- 5. 参加者数 () 名 主催スタッフ () 名
- 6. 大会費用
- 7. 主な内訳

※飲食費等は助成の対象になりません。

8. 計画資料(別紙)

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 936-△△△ 所在地 滑川市○○町△-△ 団体名 ○○教育○○協議会(○○小学校内) ※諸団体で学校に事務局等がある場合は 学校名も記入してください 代表者 職 名 会長 氏 名 ず朝日 一郎

※団体名の代表職名を記入(例:会長、実行委員長等)

※団体名が学校の場合は、校長としてください。

教育研究大会助成申請書

WEB申請の場合 押印後、PDFファイルにしてフォーム に添付して送信してください

下記のように研究大会を開催するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙「計画資料」を添えて申請いたします。

記

- 1. 大会名 第△△□○○教育○○研究大会
- 開催期日 △△年△月△日(木)~△日(金)
- 3. 主催者名 ○○教育○○協議会
- 4. 後援者名 ○○○○会
- 5. 参加者数 (△△△) 名 主催スタッフ (△△) 名
- 6. 大会費用 △△△円 ※前年度実施の場合、参加者数がわかる資料等を添付してください。
- 7. 主な内訳 会議費 ○○○円

※飲食費等は助成の対象になりません。

助成の対象にならないもの

- 1 営利目的又は営利につながる可能性の大きいもの
- 2 他の機関からの委託によるもの
- 3 既に終了しているもの
- 4 自己の財源によりできるもの

助成対象外とする費用

- 1 申請者本人の人件費等
- 2 汎用性のある機器等の購入費
- 3 懇親会等の飲食費
- 4 直接関係がない物品等

8. 計画資料(別紙)

※<u>「大会案内」も添えてください。申請時に「大会案内」が出来上がってない場合は</u>、 作成後に提出してください。

教育研究大会助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 団体名

代表者 職 名

氏 名

職印

連絡先(TEL)

下記のとおり領収書を添えて報告します。

大 会 名	
大会開催日	
助成金額	
研究実践の 概 要	
助成金の使途明細	円)

教育研究大会助成報告書

所在地

滑川市〇〇町△-△

(計

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

	団体名 ○○教育○○協議会(△△小学校内)	
	代表者 職 名 会長 氏 名 朝日 一郎 職印 連絡先(TEL) 076-000-000	
「記のとおり領	順収書を添えて報告します。 WEB報告の場合 押印後、PDFファイルにしてフ	オーム
大 会 名	に添付して送信してください 第△△回○○教育○○研究大会	
大会開催日	△年△月△日(木)~△日(金)	
助成金額		
	 1. △月△日(木) ・講演 I 「 演 題 」 ・講師: ○○ ○○先生(○○大学教授) ・協議内容 	
研究実践の 概 要	 2. △月△日(金) ・選択講座 I 「 講座名 」 ・選択講座 I 「 講座名 」 ・講師:○○ ○○先生(○○大学教授)、○○ ○○先生(○○大学教授) 3. まとめ 	
助 成 金 の使 途 明 細	・講師謝金 △△△円・会場使用料 △△△円	

· 〈添付書類〉 ・領収書(コピー)A4 用紙に貼付してください。

・成果資料「研究大会のまとめ」等

 \triangle \triangle \triangle 円)

令和6年度 教育実践研究論文助成要項

研究テーマをもって経営上の工夫・改善に取り組んでいる学校や個人(学年、教科、部会等のグループを含む)に対して助成を行うことを通して学校教育の向上発展に寄与 します。

主催 公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部

応募概要

1. 応募の流れ

教育実践研究論文(学校部門・個人部門)



2. 応募部門

- ① 学校部門[学校、教育機関等の教育研究団体] ☆ 所属長(校長等)を対象
- ② 個人部門[学校や教育機関等に勤務する個人(研究グループを含む)] ☆所属長以外の教職員を対象 ※個人部門の申請には所属長の推薦が必要です。

3. 応募方法 (WEBでの応募可能です) 2、3 ページ参照

- ①各校につき、学校部門1件、個人部門(研究グループ含む)1件、合わせて2件まで応募できます。
- ② 5月31日必着で「教育実践研究論文助成申請書」と「教育実践研究論文助成申込書」を添付して応募してください。

4. 選考について

教育実践研究論文助成の選考基準

- (1) 現代の教育課題を適切に取り上げているか。
- (2) 教育課程上適切に位置付けられ、授業の改善に資するものとなっているか。
- (3) 園児・児童・生徒の主体的な変容・発達の姿が見られるか。
- (4) 理論と実践が一体となった研究であるか。
- (5) その研究内容は価値が高く、他の学校でも活用できるか。

5. 助 成

学校部門(5万円以内) 個人部門(3万円以内)

6. 報告方法 (WEBでの報告可能です) 2、3ページ参照

教育振興事業選考委員会で助成を決定します。決定校(者)は、 $\frac{2}{1}$ (者)は、 $\frac{2}{1}$ (本)までに論文(要旨 1 枚、本文 A 4 ・ 4 枚 8,000字余り) 8部を提出してください。

※詳しくは24頁参照

- 7. その他 ●10月上旬の贈呈式で賞金の目録を渡します。また、優秀な論文は3月 発刊の電子ブック『実践報告集』に掲載します。
 - ●適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。

【実践研究賞】 学校部門と個人部門の区別なく選考



最優秀賞(20万円) ……… 1編

優秀賞(10万円) …… 2編

優良賞(5万円) …… 3編

個人奨励賞(3万円)* …… 1~5編

*個人部門の応募論文の中で、最優秀、優秀、優良賞以外で優れている 論文を表彰します。

問い合わせ・送付先

〒 939-8084 富山市西中野町 1-1-18 オフィス西中野内 公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 TEL:076-464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様申請者

所属名

職名

氏 名

職印(印)

教育実践研究論文助成(学校部門・個人部門)申請書

下記のような研究テーマをもって経営上の工夫・改善に取り組みたく、「教育実践研究論文助成申込書」を添えて申請します。

研究テーマ

〈個人部門〉のみ記入

上記の申請者を、教育実践研究論文助成者に推薦いたします。

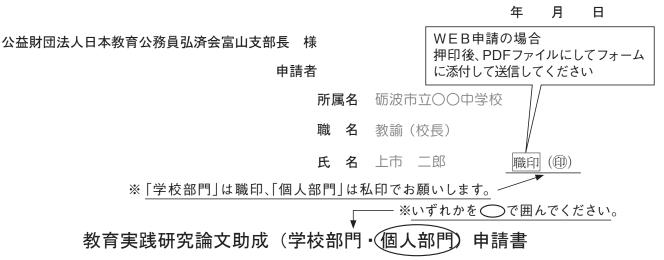
所属名

所属長

職印

[個人情報の取扱いについて]

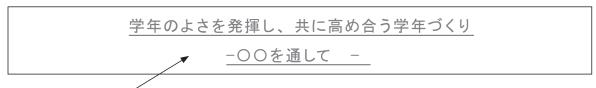
- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。



下記のような研究テーマをもって経営上の工夫・改善に取り組みたく、「教育実践研究論文助成申込書」を添えて申請します。

記

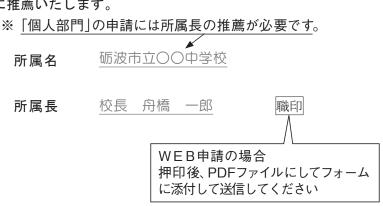
研究テーマ



※ 「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な研究テーマを決めて論文をまとめることとします。

〈個人部門〉のみ記入

上記の申請者を、教育実践研究論文助成者に推薦いたします。



[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

教育実践研究論文助成申込書

年 月 日

申請者	₩ +÷ ≠π 88	(団体名)		
	学校部門	(代表者名)		
(申請部門を○で囲ん		(所属名)		
でください)	個人部門	(個人名又はグループ名)		
		※グループの場合は代表者名	(メンバー 名)	
研究テーマ				
研究テーマ 設定の理由				
テーマに基づく 研究実践の内容				
研 究 計 画				

教育実践研究論文助成申込書

年 月 日

					
申請者	学 扶 初 明	(団体名)			
中间有	学校部門	(代表者名)			
(申請部門を○で囲ん		(所属名) 砺波市立〇〇中学校			
でください)	個人部門	(個人名又はグループ名) 上市 二郎			
		※グループの場合は代表者名	(メンバー	- 名)
	学年のよさ	を発揮し、共に高め合う学年づくり			
	_OC)を通して― ※「教育実践研究論文助成申請書」の研究	テーマと-	一致させ	: <u>る</u> 。
		(特色ある学校づくり、教職員の資質向上、地域の教育		活用等)	,
研究テーマ		性域に愛着と誇りをもち、主体的に行動する児童の育成」(/ 間に応じた支援体制の構築」(中学校)	小学校)		
	r./.	、間関係力をもとにした確かな学力と進路意識の向上を目 動く力を高める地域貢献活動の実践」(特別支援学校)	指して」(高校)	
		『日教弘教育	了賞教育研	究集録よ	り』
	「v 「ペ 「失	登童の意欲を引き出す体育の授業を考える」(小学校) いじめを生まない学級づくり」(中学校) Pってみたい」を形にして、生徒の主体的な学びを引き出す 中的障害児と指導者が共に参加できる余暇活動の在り方」 アクションカードを使った、教職員救急救命研修」(養護教詞	(特別支)
		『日教弘教育	育賞教育研	究集録よ	り』
研究テーマ設定の理由	・学年主任としてリーダーシップを発揮し、可能性を広げようとする				
	・課題を明確	全にする			
テーマに基づく	・教師の連携	±			
研究実践の内容	· 学年経営 <i>0</i>	D改善			
	<u>※仮</u> 訪	記定足び本研究で取り組もうとしていること。			
研究計画	※助成の対象にならないもの ・公的機関、研究会、市販の図書・教育誌等に既に発表した内容のもの。 ・他団体に応募(推薦含む)ずみの内容のもの。 ・本助成応募後、選考中に発表したもの及び他団体に応募(推薦含む)した内容 のもの。				容

教育実践研究論文助成助成(論文)の書き方

- 1. 論文の提出締切日 令和7年2月28日(金)
- 2. 論文の作成について

論文の作成は、原則として一太郎又はワード等を使用してください。

指定の原稿用紙はありません。下記のとおり設定の上、論文等を提出してください。

ア 要旨 (別紙 ア 参照) 本部「日教弘教育賞」様式に準じます。

様式は 48 字×43 行×1 段組×A4 判ページ横書き (フォントサイズ 10.5) とします。 執筆者の氏名・所属学校・役職・研究主題・研究の要旨等をまとめてください。

イ 本文 (別紙 / 一参照) 本部「日教弘教育賞」様式に準じます。

様式は 24 字× 43 行× 2 段組× A4 判 4 ページ横書き (フォントサイズ10.5) とします。

図表・写真等の資料を掲載する場合はA4判1ページ程度以内の分量に収めてください。

※ 要旨を必ず付けてください。

(ア・イをセットにし、ホチキス止めしたものを8部提出ください)

- 3. 論文の書き方
 - (1)論文は横書きとします。
 - (2) 文字は常用漢字、新かなづかいを使用してください。
 - (3)本文1ページ目の6行分(段組み左右)を用いて下記のとおり印字してください。

※学校名・団体名・グループ名及び役職・氏名の欄には下記のとおりお書きください。

- ①学校の場合は、学校名及び校長名
- ②グループの場合は、グループ名及びその代表者役職・氏名
- (4)小見出しや文章の書き出しの前は、ひとマスあけてください。

(レイアウト等については『実践報告集』を参考にしてください。)

(5)写真・図表等の留意点

掲載する写真・図表は、『実践報告集』作成時に図表等が見にくくならないようにご配慮下さい。 論文内に貼り付け、またはデジタルカメラで取り込んで完成したものにしてください。

また、審査終了後、電子データにて論文の提出をお願いする場合があります。

4. 論文提出後のことについて

優秀論文は電子ブック『実践報告集』にまとめ、支部ホームページに掲載のうえ、助成記録として保存します。

ア

教育実践研究論文助成 ア:要旨 様式例①

[01]1. 所属校
[02]○○市立○○中学校
[03]
[04]2. 役職
[05]校長
[06]
[07]3. 氏名
[08] 日教 弘
[09]
[10]4. 研究主題
[11]○○○○○について
[12]
[13]5. 研究副題
[14]○○中学校の1年間を通して
[15]

[16]5. 研究の要旨

```
[17]本研究は、私が勤務する○○中学校において………(以下略)
[18]
[19]
[20]
[21]
[22]
[23]
[24]
[25]
[26]
[27]
[28]
[29]
[30]
[31]
                  ※ 48字×43行×1段組 A4判 1ページ
[32]
                  (フォントサイズ 10.5) で作成してください。
[33]
                  ※「6. 研究の要旨」は、文字数制限は設けて
[34]
                  おりません。スペースに収まる範囲で自由にご
[35]
                  記入ください。
[36]
                  ※ こちらは見本のため、文字数・行数を記載
[37]
                  していますが、実際の要旨には不要です。
[38]
[39]
[40]
[41]
[42]
[43]←
```

[01]	
	○○○について(研究主題)
I	中学校の1年間を通して ― (副題)
[04] どちらでも結構です。	
[05]	(学校名) ○○市立○○中学校
[06]	(役職・職名) 校長 日 教 弘
[07]	(1行余白)
[08](以下、 <u>1行 24 字 (全角の場合)</u> で本文を記入)	[08] ※ これは、「 学校 」で応募した場合の記入例です。
[09]	[09] 個人またはグループで応募する場合は、下記の内容
[10]	[10] を記入してください。
[11]	[11] ● 個人 所属学校名・役職・氏名
[12]	[12] ● グループ … グループ名・代表者役職・氏名
[13]	[13]
[14]	[14]
[15] ああああああああああああああああああああ	[15]
[16] あああああああああああああああああああああ	[16]
[17] ※ 写真・図表等の資料を入れる場合は、このよ	[17]
[18] うに論文の中に挿入してください。	[18]
[19] なお、論文量は本文と写真・図表等の資料を	[19]
[20] 含めて4枚に収めてください。	[20]
[21] BOCT TO CARDOCY (COV)	[21]
[22] あああああああああああああああああああああ	[22]
[23] あああああああああああああああああああああ	[23]
[24]	[24]
[25]	[25]
[26]	[26]
[27]	[27]
[28]	[28]
[29]	[29]
[30]	[30]
[31]	[31]
[32]	[32]
[33]	[33]
[34]	[34] ※ 24字×43行×2段組 A4判 4ページ
[35]	[35] (フォントサイズ10.5 数字アルファベットは
[36]	[36] 半角)で作成してください。
[37]	[37] ※ こちらは見本のため、文字数・行数を記
[38]	[38] 載していますが、実際の論文には不要です。
[39]	[39]
[40]	[40]
[41]	[41]
[42]	[42]
$[43] \leftarrow \leftarrow \leftarrow \leftarrow \leftarrow \leftarrow \leftarrow \leftarrow 24 $	$[43] \leftarrow \leftarrow \leftarrow \leftarrow \leftarrow \leftarrow 24 \not ; \rightarrow \rightarrow$

1. 所属校

富山市立浜黒崎小学校

2. 役職

校長

3. 氏名

谷岡 一直

4. 研究主題

生き生きとした姿と「ありがとう」があふれる学校づくり

5. 研究副題

学級担任の負担軽減と教職員の主体的な「対話と認め合い」から

6. 研究の要旨

(1) 主題設定の理由

子供たちが共に学び合い、生き生きと学校生活を送るためには、まず教員が生き生きとした姿で取り組むことが必要である。そのために、教員が心身共にゆとりをもち、働き方に構造的なゆとりをもたせる具体的な働き方改革に取り組みたい。

このような取組とともに、教職員間における「対話と認め合い」を促し、一人一人が所属感をもって、 主体的に前向きに職務に当たることができる気持ちを育てていきたい。こうして、生き生きと職務に取り 組める職場づくりが、生き生きとした姿と「ありがとう」があふれる学校づくりとなると考えた。

(2) 研究の視点

- ① 教員が心身共にゆとりをもって職務に当たることができる環境づくり(働き方改革)
- ② 教員同士の「対話と認め合い」による教員が主体性をもつことができる取組

(3) 具体的な取組

- ①・スクール・サポート・スタッフが学級会計事務を担当することで学級担任の負担軽減
 - ・学校運営協議会を活用して地域人材による授業サポートで授業者の負担軽減
 - ・保護者に対する教員の勤務時間周知によって生まれる学級担任の負担軽減
- ② ・生徒指導上の問題に対して教員一人一人が「対話と認め合い」で主体的に取り組む組織づくり
 - ・学校事務職員や会計年度任用職員、市職員も含めすべての教職員の心理的安全性を確保する取組
- ③ 教職員の生き生きと働く姿が、子供たちが生き生きと活動することにつながり、"生き生きとした姿と「ありがとう」があふれる学校づくり"となる。

(4) 成果と課題

- ① 成果 ・スクール・サポート・スタッフが会計事務を担当することによって、学級担任1人あたり、 年間少なくとも約23時間の業務時間削減となった。
 - ・教員が主体的に前向きに教育活動を行うことで、子供たちも主体的に取り組むようになった。
- ② 課題 ・スクール・サポート・スタッフと学級担任が連携して取り組めるように、情報共有するための時間が少ない。
 - ・教員自らが教員として必要だと考えている経験が多岐に渡っており、その意識が多忙化を生んでいる一面がある。多忙化解消のための更なる意識改革が必要である。

【主題】生き生きとした姿と「ありがとう」があふれる学校づくり 【副題】学級担任の負担軽減と教職員の主体的な「対話と認め合い」から

【学校・団体名】 富山市立浜黒崎小学校 【役職名・氏名】 校長 谷岡 一直

1 はじめに

本校は、児童数97名の小規模校であり、全学年単級と2つの特別支援学級となっている。学校教育目標「仲間と共に学び合い、生き生きと生活する子供の育成」を掲げ、今年度は「対話と認め合いで自ら考える子供たちを育てよう! | を合い言葉としている。

本校教員(フル)は13名で、校長、教頭、教務主任、養護教諭、図工専科教員、そして担任8名となっている。少ない教員数であるが、一人一人が自分のよさを発揮し、やりがいを感じながら協働で様々な課題に向き合える教師集団となって、生き生きと働く教職員の姿が子供たちの生き生きとした活動につながり、主体的に行動する子供たちの姿を育てると考える。まずは、生き生きと働く教師集団となるために、働き方改革を具体的に進めることが大切と考え、本研究を進めた。

2 研究の視点

【視点1】教員が心身共にゆとりをもって職務に 当たることができる環境づくり

【視点2】教員同士の「対話と認め合い」による 教員が主体性をもつことができる取組

3 研究内容

【視点1】教員が心身共にゆとりをもって職務に当たることができる環境づくり

(1) スクール・サポート・スタッフ (SSS) が会計 事務を担当

多くの学級担任が負担に感じている業務が会計事務である。本校のように学年が単級となっている小規模校は、学年の行事計画やその細案作り、生徒指導に教材準備等あらゆる業務を一人で担当しなければならない。その中でも会計事務は多くの担任が負担と考えている。そこで、本校では2年前からその業務をスクール・サポート・スタッフ(教員の業務を支援するスタッフ以下SSS)が担当することにした。

① SSSの配置状況

・R3年度・・・1日4時間で週3日

・R4年度・・・1日4時間で週5日

R3年度は、SSSも業務を理解しながら試行錯誤 で行った。納品書や請求書、領収書の整理、支出伺書 作成、決算報告書の作成等を行った。

R4年度は、SSS が週5日となったこと もあり、学級担任と連 携しながら、予算書作 成から会計綴りの整理 等ほぼすべての会計事 務をSSSが行った。



担任との連携用フォルダ

SSSの業務は、この会計事務のほかに、授業の補助、テストの採点業務、教材準備、コロナ対策の消毒作業等であった。

② SSSによる会計事務の実際

R 4 年度(2/24まで)で、S S S の勤務時間は次のと おりとなった。

SSS	R 4 年度	(うち12月)
勤務時間	684h	(64h)
(内会計事務)	(187h)	(4 1 h)

SSSの勤務時間のうち約3割が会計事務に費やされることとなった。特に、学期末の決算をして保護者に報告書を作成する12月を例に挙げると、64時間の

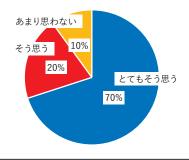
うち41時間、6割強を 会計事務に当てていた ことが分かった。1学 級当たり年間で約23 時間、12月では約5時 間、従来の学級担任の 業務時間を削減したこ とになる。



会計事務をするSSS

③ 振り返り

教員に対するアンケートでは、次のような回答結果 となった。 問 SSSが会計事務をすることで、担任の業 務軽減、時間短縮につながったと思いますか。



問 来年度は会計事務について、どうすればよいでしょうか。自由に書いてください。

・今年度同様に、SSSの方に担当してもらえると 助かります。

という回答が多かった一方で、

- ・とてもありがたかったが、全く関わらないので心 配な面もある。どのような方法があるか分からな いが、関わっていけたらと思う。
- ・負担軽減にはなりますが、会計事務担当の方との 打ち合わせの場が必要だと思います。
- ・担任もしっかり確かめることが大切だと思う。
- ・担任は、購入したものや納品されたものをしっか りと管理し把握することが大切だと思う。

という意見も多くみられた。教材等のお金の動きに実 感がなく、中堅やベテラン層の学級担任は特に不安に 感じていた。「あまり思わない」と回答した教員からは、

・担任や学年担当者がした方が、どのように会計されているかが分かってよいと思います。

とのコメントもあった。

SSSの勤務時間が午前のみ4時間ということもあり、学級担任とSSSが直接打合せ等をすることができない日がほとんどであった。SSSによる会計事務を進めていくために、学級担任とSSSとの連携を確実にできるよう、勤務時間の見直し、連携ツールの工夫等の課題が残った。教職員全体の「対話と認め合い」を重ねる場の設定にさらに取り組みたい。

(2) 地域人材等を活用した授業サポート

本校は小規模校であり、通常の学級においては、どの学級も20名以下である。しかし、作業を伴う実習に取り組む授業では、危険のないよう、確実に学習内容を定着させるよう、一人一人をしっかりと支援する必

要がある。能力差のある学級、生徒指導上配慮を必要とする学級であれば、なおのことである。そこで、学校運営協議会を通して、授業のサポートができる人材を地域で探し、手伝ってもらうこととなった。

① 学校運営協議会による人材発掘

今年度はまず、5・6年生の家庭科で、ミシンを扱う際に、一人一人を見守ってもらう方をお願いすることとなった。学校運営協議会の委員長が心当たりの方一人一人に声をかけた結果、地域の方5名が参加した。

② 実際の授業の様子

5年生の家庭科では6回、6年生でも6回の合計12回参加してくださり、授業者は「以前は、一人でもつまずいている子供がいると、つきっきりになってしまっていた。今回は、授業中、全体を見渡し、必要な指示を出せるなど、心にゆとりをもつことができ、落ち着いた授業にすることができた」と話していた。

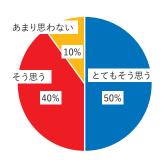
③ 振り返り

サポーターの方々は、高齢の方が多く、「孫でさえも 小学生じゃなくなったので、学校にはもう縁がないと 思っていたが、とてもうれしかった」「役に立つことは ないと思っていたが、できたとき子供たちが笑顔にな り、役に立ててうれしかった」と語っていた。後日、 長寿会等で話題となり、地域の方々が学校に親近感を もってくださるようになった。

子供たちも「分からないとすぐ教えてもらうことができ、やりやすかった」など意欲につながる感想が多くあった。

教員に対するアンケートでは、次のような回答結果 であった。

問 家庭科サポーターに5・6年生の授業を手 伝っていただきました。こうした取組を他教 科他学年にも広げ、授業者の負担軽減につな げたいと思いますか。それは、どの教科どの 場面ですか。



他教科他学年の例 として、家庭科(裁 縫)、音楽(合奏、ピ アノ練習等)、総合的 な学習(ゲストティ ーチャー等)、書写等 があげられていた。

「あまり思わない」の理由として、「担任によって、

必要な教科サポートは違うと思うので、それに対応で きることは難しいと思う」といった声であった。

様々な意見を自由に出しながら、教職員全体の「対話と認め合い」を大切にして、生き生きと働くための 方策を考えていきたい。

(3) 保護者に対する教員の勤務時間の周知

教員の長時間勤務の原因として、保護者対応を挙げる教員が多い。そこで、教員の勤務時間を保護者に理解してもらうことにした。

① 学校運営協議会やPTAへの働きかけ

「勤務時間は平日8:10~16:40であり、これ以外の時間では対応できない場合がある」という内容について、学校運営協議会を通して、地域の各団体に向けて、校長の言葉でお願いした。また、PTAには、4月のPTA総会、全体委員会等の場における校長挨拶の中で、その協力を繰り返しお願いしてきた。

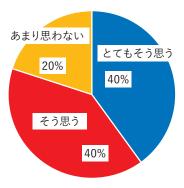
その結果、学期末の保護者懇談会の時間設定では、 遅い時間を申し出てくる保護者がほとんどいなくなった。あるときには、夕方5時頃に電話してきた保護者が「時間外にすみません。・・・」と話すなど、ある程度浸透していることが実感できる出来事もあった。

② 登校時間の変更

年度の途中から、朝の児童玄関解錠時間を「7:45から7:55」に変更したが、保護者からは否定的な反応はなく極端に早く登校する児童も見られなくなった。

③ 振り返り

問 「教職員の勤務時間は8:10 ~ 16:40となっていますので、この時間内での対応にご協力ください」と何度か呼びかけてきました。これが負担軽減、勤務時間短縮につながっていると思いますか。



教員の中には、して を保護者を感じている を保いないのでがいる。 をはないのででは、 をはいるのででは、 を認めている。 といるのでは、 といるでは、 といるでは、

(4) 成果と課題

学期末で業務が集中する12月の担任の平均時間外

勤務時間は次のとおりとなった。

R 2年12月···56時間23分

R 3年12月···39時間27分

R 4 年12月 · · · 32時間24分

前述のとおり、R4年12月におけるSSSが会計事務を行った時間が41時間で、1学級あたり約5時間であること、児童玄関の朝の解錠時間が10分遅くなったことなどの効果があったと考えられる。

教員アンケートで削減できた要因を自由に書いても らったところ、「様々な業務をたくさんの人で分担した こと」の他に「研修会や打合せの回数や時間をしぼっ たこと」「児童の登下校時刻が見直されたこと」があっ た。一方で「リモートパソコン等を利用して、自宅に 持ち帰っている仕事がまだまだある」といった意見も あり、引き続き業務改善に取り組んでいきたい。

【視点2】教員同士の「対話と認め合い」による教員 が主体性をもつことできる取組

(1) 生徒指導上の問題解決への取組

生徒指導上の問題は担任に大きなストレスがかかる。 担任が抱え込まず、組織的な対応を速やかに行う必要 がある。一方、教員が主体的、前向きに取り組むこと で、児童や保護者からの信頼を得ることにもつながる。

① 生徒指導日誌作成にSOAPを意識

「SOAP」とは主に医療分野のカルテ作成に用いられる用法で、次の4点を意識して記入することで、 状況把握、対応と今後の方向性の判断指示を明確にすることができる。

· S (subjective) :主観的情報

対象者が話した内容等から得られた情報

· O (objective) :客観的情報

観察や周囲等から得られた客観的な情報

· A (assessment):評価

SやOを分析、解釈した総合的な評価

・P (plan) :計画

Aに基づいて決定した今後の対応、指導等

② 生徒指導日誌をサーバーで管理作成

生徒指導日誌は、担任等対応した教員が記載。生徒 指導主事が修正を加えて作成する。サーバーにあるデ ータで作成するので、すばやく共有できる。SOAP を意識して作成することで、事実が整理され、状況把 握しやすい。日誌には、対応した教員や生徒指導主事 の主体的な指導の方向性が示されるので、管理職の判 断も対応した教員の意識に沿った判断指示ができる。

③ 振り返り

ある教員は「これまでは、事実を管理職に伝え、指示を待つ意識だったが、子供たちの問題を担任として主体的に考えるようになった」と話した。

生徒指導日誌を事後に作成することも多いが、意識することで口頭による報告でも、同様な効果があった。 教員同士、管理職への報告連絡相談でも、こうした「対話と認め合い」を重ねることで、教員の主体的な対応を促すことができた。

(2) すべての教職員の心理的安全性

教員に事務職員、会計年度任用職員、市費職員(助手、調理員、用務員)等を加えたすべての教職員が本校への所属感、心理的安全性をもつことで、「対話と認め合い」が活性化され、一人一人が職務に主体的に取り組むことができ、生き生きとした姿があふれることにつながると考えたいくつかの方策の一つを挙げる。

① 週に1回、誕生会

毎週1回15分程度の連絡会を行っている。その際、その週に誕生日を迎える教職員には、全員で歌を送り、一言話をしてもらった。話の内容は決めず、そのときに感じたことを何でも話をする。教職員全体に話をすることで、一員としての自覚が生まれ、聞いている方も、その職員の人柄に触れることになる。

② 振り返り

教員アンケートにおける「誕生会が何でも話せる雰囲気づくりにつながったと思うか」に対する回答は次のとおりであった。





誕生会の様子

この機会に自分を認めてもらおう、他の職員の知らない一面を知ったなどといった、「これをきっかけに話しやすくなった」という職員もいれば、逆に誕生会が負担に感じる職員もいたようである。この取組に限らず、気軽に話し相談できる関係づくりは大切であり、これからも試行錯誤を重ね、あらゆる場面で「対話と認め合い」を促せる取組を意識していきたい。

4 今後の課題

(1) SSSによる会計事務

SSSの勤務条件通知書の職務内容の欄には、「校長の指示に従い、教員の業務補助を行う」と記載されており、会計事務をSSSの担当とした。成果は認められたが、教員アンケートからは、会計事務の経験を積んでおかないと勤務校を異動したときに困る、若手はこのような会計の流れを知っておくことは大事だ、といった意見があった。来年度は、こうした声も踏まえて学級担任がしっかりと関わる流れを考えていきたい。一方で、こうした「若いうちに経験しておかなければ」「教員として多く経験する必要がある」といった意識こそ、仕事を増やし多忙化を生んでいるとも感じた。教員が心身共にゆとりをもって職務に当たることができる環境づくりを進めるためには、このような斬新な取組による意識改革が必要であると考える。

(2) 教員が主体性をもつことできる取組

昨年度、たくさんある学校行事(校外学習、宿泊学習、遠足等)の中で、その要項に書かれている行事の目的等については、担当教員はあまり意識せず、時には「例年どおり」といった意識で企画実行されているようにも感じた。また、生徒指導上の問題では、管理職に報告するがそこで指示を待つ傾向を強く感じた。

今回の研究を通して、教員にも主体的に考えるよう に促していったところ、今年度「あなたはどうした い?」と子供に問いかける教員の姿を何度も見かけた。

すべての教職員が互いに支え合い、「ありがとう」 という声をかけ合う関係を築くことで、教員に時間的 なゆとりが生まれ、主体的に生き生きと取り組むよう になった。子供たちにもそれが伝わっていくのを肌で 感じることができた。さらに主体性が高まる組織づく りを考えていきたい。

(3) 生き生きとした姿があふれる学校に

教員に時間的なゆとり が生まれたことで、児童 会主催の行事をたくさん 行うことができた。今後 も教員や子供たちが、自 ら考え、みんなで楽しめ る学校づくりに取り組ん でいきたい。



児童会主催「わくわく集会」

令和6年度 課題研究助成要項

今日的課題を掲げて研究実践に取り組む若手教職員に対して助成を行う事業です。 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部

応募概要

1. 応募の流れ



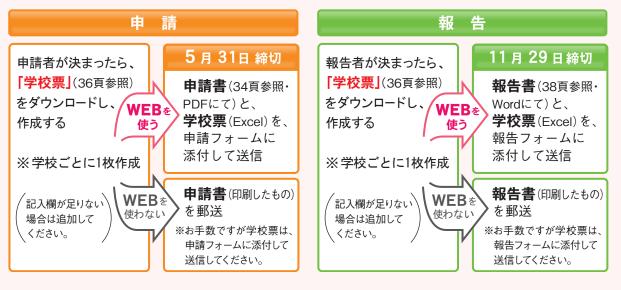
2. 助成要件

- (1) 助成の趣旨
 - ・今日的な課題を掲げて取り組む教育実践報告を対象とした助成を通して学校教 育の向上発展に寄与します。
 - ・1名の申請につき5千円以内の助成をします。
- (2) 応募対象

国・公・私立の幼・小・中・高・特別支援・高専等の各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する30歳以下の教職員とします。尚31歳以上の新規採用教職員は、3年次まで対象とします。

- (3) 応募期間 令和6年4月1日(月)~令和6年5月31日(金)必着 所定の様式 34頁参照
- (4) 報告書提出 **令和6年11月29日(金)必着** 所定の様式 38頁参照
- (5) その他
 - ・会報「教弘とやま」と「実践報告集」に助成者名を掲載いたします。また、優秀賞 の報告書20編も「実践報告集」に掲載します。
 - ・適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。

3. 申請・報告方法 下記にしたがって各学校から申請・報告してください。



4. 審査 教育振興事業選考委員により審査します。

選考委員… 学識経験者、富山県教育委員会並びに小・中学校、高校の 各校長会に選考委員を依頼します。

5. 選考基準

- (1) 現代の教育課題を適切に取り上げているか。
- (2) 教育課程上適切に位置付けられ、授業の改善に資するものとなっているか。
- (3) 園児・児童・生徒の主体的な変容・発達の姿が見られるか。
- (4) 理論と実践が一体となった研究であるか。
- (5) その研究内容は価値が高く、他の学校でも活用できるか。

【実践研究賞】 前年度に提出された報告書が対象となります。

優秀賞 3万円 (20件) 優良賞 1万円 (10~30件)



問い合わせ・送付先

〒 939-8084 富山市西中野町 1-1-18 オフィス西中野内 公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 TEL:076-464-3703

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 所原	属名				
職	名	()	第()学年
ふり 氏	がな 名			(H) (歳) 年次)

課題研究助成申請書

下記の課題をもって研究実践に取り組みたく、助成を申請いたします。

記

1.	研究課題

2. 助成金の主な使途

上記申請者を課題研究助成者に推薦いたします。

所属名

[申請にあたっての注意事項]

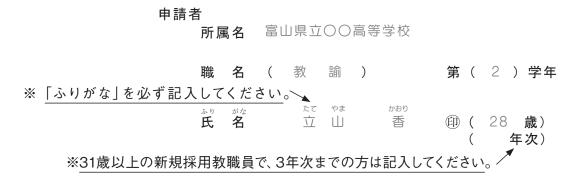
・提出された報告書については返却しません。

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様



課題研究助成申請書

下記の課題をもって研究実践に取り組みたく、助成を申請いたします。

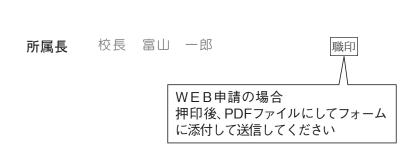
記

1. 研究課題
生徒一人一人のよさを引き出す授業の工夫
※「研究課題」はできるだけ簡潔にお願いします。

2. 助成金の主な使途 研究のための書籍購入

上記申請者を課題研究助成者に推薦いたします。

所属名



富山県立〇〇高等学校

[申請にあたっての注意事項]

・提出された報告書については返却しません。

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長

学校票 様式一課題研究助成 Ш

Щ 件 盟 黙 鋁 臣 [記入者] 職名·氏名 **压**名 報告書(学校票) 職名 柘 課題研究助成申請書 Щ 出 番児 က 2 9 7 4 ∞ 6

『学校票』は、年2回提出(HPからダウンロードした Excel シートに入力したデータ)願います。

※研究課題等に変更があれば修正をして ■1回目「課題研究助成<u>申請書</u>」の提出時 ■2回目「課題研究助成<u>報告書</u>」の提出時 【提出方法】 1回目、2回目ともに、 $\frac{\Lambda-\Delta^{\Lambda}-\circ OWEB$ 申請フォームに添付して提出してください。 ※シートのタイトルは『OO市・△△中・課題研口名』 記入例一課題研究助成 学校票

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

# # H	眼 14ポイント	※ 氏名の確認のため	NUNGEANTAREIN.			ないテーマで提出		内容を変更した	問じてください。がなくても再度		
·氏名	, 研究 票	主体的に学ぶ子供の育成 ※ 氏	ふりね 児童一人一人のよさを生か ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		\[\]	※ 申請時は、できるだけ広いテーマで提出するイントランジョン・		※ 申請時と研究課題の内容を変更した	場で、報告時に参止して提出してたさい。なお、確認のため変更がなくても再度	提出願います。	
[記入者] 職名・氏名	ト 氏名 14ポイント	たてやま りょうずけ 立山 完介	000,000	00 9		性と名の間は半角	زر، در،				
(学校票)	職名 14ポイント	教論	教論	養護教論		※ A と名の	開けてください。	上の場合は、	を追加して提出して		
究助成申請書・報告書	所属名 14ポイント	氷見市立〇〇小学校	同上	連絡をとる場合ニナーのエップ	ありますので記入をお願いします。				行を追加し	\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	
課題研	番号	1	2	က	4	2	9	7	8	6	10

『学校票』は、年2回提出(HPからダウンロードした Excelシートに入力したデータ)願います。

■1回目「課題研究助成申請書」の提出時

■2回目「課題研究助成<u>報告書</u>」の提出時 ※研究課題等に変更があれば修正をして

【提出方法】1回目、2回目ともに、<u>ホームページのWEB申請フォームに添付</u>して提出してください。 ※シートのタイトルは『〇〇市・△△中・課題研口名』

課題研究助成報告書

(研究課題)			

1 課題設定の理由

2 研究実践

3 研究の成果

4 今後の課題

課題研究助成報告書

A4 判 1 枚 (余白は上 20mm, 下 25mm, 左右 20mm) 44 字 (MS 明朝 10.5P)

(研究課題)

(MS ゴシック 14 P) 枠で囲む

3 行

学校名・学年・職・氏名 (MS 明朝 10.5P)

1 課題設定の理由 (MS ゴシック 10.5P)

(本文は MS 明朝 10.5P 数字は半角 アルファベットは半角 [A])

・実態等

- ‡ 空けない
- 2 研究実践 (MS ゴシック 10.5P)(本文は MS 明朝 10.5P 数字は半角 アルファベットは半角 [A])

37 行

- *図表・写真等を掲載する場合もこの 1 枚に収める。
- *文字数、行数の多少の増減は可。

- ‡ 空けない
- 3 研究の成果 (MS ゴシック 10.5P)(本文は MS 明朝 10.5P) 数字は半角 アルファベットは半角[A])
 - ・解明されたこと
- ‡ 空けない
- 4 今後の課題 (MS ゴシック 10.5P)(本文は MS 明朝 10.5P 数字は半角 アルファベットは半角 [A])
 - ・残された問題点

WEB 報告の場合:

報告書は Word 形式で、学校票と一緒に 学校ごとにフォームより送信してください。 主体的な学びにつながるユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり --第5学年 家庭科「クッキング はじめの一歩 ~ゆで野菜サラダを作ろう~」の実践を通して--

高岡市立福岡小学校・教諭・有島千紘

1 課題設定の理由

本単元は、調理の基礎を理解して、ゆでておいしく食べるための調理計画を考え、実践することをねらいとしている。食生活に関する最初の題材であり、児童は非常に関心をもっている。ユニバーサルデザインの視点を取り入れることで、どの児童も主体的に学習に取り組むことができるように、この課題を設定した。

2 研究実践

(1) 調理の基礎の確実な定着を図るための栄養教諭との連携

単元を通して栄養教諭と連携し、授業を行った。児童は「①お茶②青菜③じゃがいも」の調理実演を見ることで、「ゆでる」調理の基礎を学んだ。前時では、野菜のゆで方の違いについて話し合い、9種類の野菜を「A:水からゆでる」と「B:湯からゆでる」に分類した。得られる栄養素や彩りのバランス等について専門的な話を聞くことで、児童は自分で作るゆで野菜サラダの材料を3種類選ぶことができた。



〈栄養教諭と行った野菜の分類〉

(2) より手際がよくなる調理計画を立てるための学習活動の工夫

一人一台専用端末を活用し「手際よく調理するための調理計画」を立てる活動を行った。教師が作成したそれぞれの野菜の調理動画をMicrosoftStreamに公開し、児童はそれを見ることで、自分が選んだ野菜の調理の手順を視覚的に理解することができた。さらに、調理の手順をカードに書き込み、ワークシートに並べて貼り付けることで、時系列に整理することができた。重要な手順を一人一人の必要に応じて繰り返して見ながら、カードを貼り替えるなど、手際よく調理するために調理計画を何度も考え直す姿がみられた。そして、1つずつ野菜を調理するのではなく、複数の手順を組み合わせて、3種類の野菜を並行して調理する必要があることに気付き、自分の調理計画をよりよいものにしたいという思いももった。





〈調理計画を立てる様子〉

(3) 取組を共有し、評価・改善するための振り返りの工夫

一人一人が考えた調理計画をグループで確認した後、改善するための個人学習の場を設けた。事前に学習専用端末で調理計画を撮影しておき、話合いの前後での調理計画を比較することで、どのようによりよく変わったか振り返ることができた。さらに、実際に調理している様子と完成したゆで野菜サラダを撮影し、OneNoteで共有することで、取組を互いに評価することができた。自己・相互評



〈児童が撮影した写真〉

価を繰り返しながら活動を行う中で、児童は調理のよさや楽しさを感じ、自分の食生活をよりよくしようとする意欲を高めた。

3 研究の成果

- ・単元を通して栄養教諭と連携し、授業を行ったことで、調理の基礎の確実な定着を図ったり、より専門 的な知識を獲得したりするなど、児童は、安心して授業に取り組むことができた。
- ・手順カードを用いたワークシートを用意したり、学習専用端末で動画や写真を提示したりすることで、 児童は主体的により手際がよくなる調理計画を立てることができた。

4 今後の課題

2年間の家庭科の学習で目指すゴールを明確にし、段階的に単元を設定する必要がある。基礎となる5年の学習を大切にし、単元を通して、自己・相互評価を続けていくことで、児童自身が自分の成長を確認しながら、学習を積み重ねていくことができるように工夫していきたい。

令和6年度 教育助成要項

校内研修の活性化及び特色ある学校づくりにかかる費用への助成を行う事業です。

- 1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部
- 2. 助成要件
- (1) 助成の趣旨
 - ・令和6年度に行う校内研修や特色ある学校づくりにかかる費用への助成を 通して学校教育の向上発展に寄与します。
 - ・申請に対し1校につき3万円以内の助成をします。
- (2) 応募対象

中学校、高等学校、義務教育学校、特別支援学校(中学部、高等部)

- (3) 応募期間 令和6年4月1日(月)~令和6年5月31日(金)必着
- (4) スケジュール

令和6年6月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。

7月上旬 採否の結果と助成時期を通知します。

11月中旬 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。

- 3. 申請について (WEB申請可能です) 2、3 ページ参照
- (1)「教育助成申請書」を提出してください。
- (2) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。
- (3) 適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- 4. 選考基準について

事業の助成要件等により、選考を行います。

- 5. 報告について (WEB報告可能です) 2、3 ページ参照
- (1) 研修内容と成果、助成金の主な使途についての報告を提出してください。
- (2) 領収書のコピーも必ず添付してください。尚、<u>領収書は助成額以上</u>となるようお願いします。(47ページ参照)
- (3) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。また、成果資料等があれば添付してください。なお、成果資料等は支部が公表できるものとします。
- 6. **報告の提出日** 令和 7 年 2 月 28 日 (金) までに提出してください。
- 7. 送付先(問い合わせ先) 〒 939-8084 富山市西中野町 1-1-18 オフィス西中野内 公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 Tel (076)464-3703

様式-教育助成

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

 申請者
 〒

 所在地
 IL ()

 学校名

教育助成申請書

下記のように研修を行うに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、ここに申請いたします。

研修で研修に	ニかかる教材・教具等とその費用
使用計画・概要	

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 938-△△△

所在地 黒部市〇〇町△△

Tel (0765) $\triangle \triangle - \triangle \triangle \triangle$

学校名 黑部市立〇〇小学校

校長名 校長 射水 一郎

職印

教育助成申請書

下記のように研修を行うに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、ここに申請

いたします。

研修テーマ

使

用 計

画

概

要

主体的に学習に取り組み、共に高め合う子供の育成

WEB申請の場合

押印後、PDFファイルにしてフォーム に添付して送信してください

研修にかかる教材・教具等とその費用

- ・ホワイトボード1枚 △△△円 ・講師謝金 △△△円
- · 〇〇学習教材 △△△円
 - ○○を活用し、○○学習の活動に役立てる。
 - · 〇〇するために使用する。 等

※児童・生徒が使用する場合は、汎用性のある機器(デジタルカメラ・ビデオカメラ等) であっても助成対象となります。

助成の対象にならないもの

- 1 営利目的又は営利につながる可能性の大きいもの
- 2 他の機関からの委託によるもの
- 3 既に終了しているもの
- 4 自己の財源によりできるもの

助成対象外とする費用

- 1 申請者本人の人件費等
- 2 汎用性のある機器等の購入費
- 3 懇親会等の飲食費
- 4 直接関係がない物品等

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事 業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

教育助成報告書

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長	様	年	月	日
	学校名			
	校長名		職印	
	連絡先(TEL)			
下記のとおり「領収書」を添えて報告します。				
実践研修テーマ				
現状(課題)とテーマ設定の理由				
実施期間				
研修内容と成果				
明月日に及木				
助成金の主な使途				

教育助成報告書

年 月 日

職印

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

学校名 黒部市立○○小学校	λ
----------------------	---

校長名 校長 射水 一郎

連絡先(TEL) 076-000-000

に添付して送信してください

下記のとおり「領収書」を添えて報告します。

実践研修テーマ

現状(課題)とテーマ設定の理由

今年度は、昨年度の研修を・・・・・・・・・

実施期間

令和6年4月1日~令和7年3月31日

研修内容と成果

(1) 研修内容

٠

(2) 成果

.

.

助成金の主な使途

· ○○制作費 · 講師謝金 等 計 △△△円

〈添付書類〉・領収書(コピー)を A4用紙に貼付してください。

WEB報告の場合:報告書および添付書類は PDF 形式にてフォームより送信してください。

様式-教育助成

教育助成報告書

令和4年12月12日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

学校名 富山市立藤ノ木中学校

校長名 鍋田 敬一 職印

下記のとおり「領収書」を添えて報告します。

実践研修テーマ

確かな学力の定着と互いに認め合う心をはぐくむ生徒の育成 - 主体的・対話的で深い学びをめざして-

現状(課題)とテーマ設定の理由

本校では「確かな学力の定着」に課題が見られるため、今年度は授業力の向上を目指し、 校内研修を行った。学校訪問研修、各種公開授業研修(富山市教育センター主催初任者授 業研修や2年次授業研修、中学校教育研究協議会東部地区大会理科部会)に向けた校内授 業研修(互見授業研修)、講師を招聘した校内授業研修を中心に、授業の具体的な場面を捉 えた研修を進めることとした。

研修内容と成果

(1) 研修内容

視点1 生徒の学習意欲を高める課題設定

視点2 学びを深める手立ての工夫

- (2) 成果
- ①「課題」「確認」「振り返り」のマグネットシートを全授業で 共通して使用している。生徒が考えたくなる課題を設定した り、授業での学びを自覚させる時間を確保したりする意識が 高まった。
- ②生徒が自分の考えを客観的に捉え、表現する手立てを工夫している。例えば、理科の実験場面において現象をモデルで表現したり、保健体育科の球技の試合後には、作戦盤を用いて自分たちの動きを確認し、作戦を立てたりした。考えたくなる課題を意図的に設定し、タイミングを見計らって話合いの場を設けることで、生徒の学びに新たな気付きや深まりが生まれた。
- ③講師を招聘した校内研修では、講演前に講師と校内の教員が 提案授業を参観したことで、授業の具体的な場面で共通理解 を図りながら講演を聴くことができた。「各教科における思考 力・判断力を鍛える授業づくり」の演題で講演をいただき、 生徒が「これならやれそう」「やってみたい」と思う学習課題 や学習活動をどう設定していくか学ぶことができた。普段の 授業づくりに対する意識の変化が見られた。



【理科の授業の様子】



【保健体育科の授業の様子】



【講師を招いた校内研修】

助成金の主な使途

講師謝金3万円(講師:福井大学教育学部言語教育講座国語教育学准教授萩中奈穂美先生)

領収書(A4白紙に領収書(コピー)を貼って提出してください) WEB報告の場合: PDF形式にてフォームより送信してください。

領 収 書

富山市立弘済小学校 殿

令和6年8月30日

.....

但し マグネット付プレート代(20枚)

(株) とやま文具店 印

台紙 2 枚以上 になる場合は 番号を付けて ください

領収書の金額を合 算して助成金以上 になるようにして ください (領収書1枚でも可)

領 収 書

富山市立弘済小学校 殿

金額 ¥ 2 3 1 0 0

(内、消費税 ¥2,100)

但 レーザーポインター一式 として

入金日 9月30日 上記正に領収いたしました

株式会社 日教弘でんき 印

情報の窓Ⅱ



令和5年度『教弘とやま』第133号 令和5年11月15日発行

教育文化事業報告

富山の魅力発見講座WIE参加し



講師:元学芸員 福江 充 氏/登山家 佐伯知彦 氏

日時:令和5年7月28日(金)10:00~ 場所:富山地鉄ホテル 11階 アルシェフ 会議室・ホール



佐伯知彦 氏

立山とつながる富山の人々

富山市立上滝中学校 教諭 長谷川 凜太郎

今回の講座で、富山の人々と立山が深く結びついてい ることが分かりました。立山が、古くから立山信仰によっ て多くの人々に親しまれてきたこと、また、実際に富山の 伝統料理を食し、立山が育む自然が、私たちの食を多様 にしていることを学びました。立山は雄大で美しいだけ でなく、宗教や食といった富山の人々の生活を支えてくれ ています。

現在も、その様々な魅力にひかれ、たくさんの人々が立 山を訪れています。その中で、立山の魅力をさらに広め、 守っていこうと活動されている方々がいることを知り、感 銘を受けました。今回の講座に参加し、富山の魅力を再 発見することができました。私も、立山を愛する者の一人 として、その魅力を生徒に伝え、これまでの伝統をつない でいきたいと思います。

子どもたちと富山のすばらしさを分かち合いたい

富山市立堀川小学校 教諭 長谷川 仁義

社会科、総合的な学習の時間等の時間には、「立山が 災害から守ってくれているよ | 「都会すぎず、ちょっと田舎 の富山が好き」などの声が聞かれ、子どもたちが富山に 愛着をもっていることが伝わってきます。そんな子どもた ちと一緒に、もっと富山のすばらしさを分かち合えたら ……と思い応募させていただきました。やはり富山はすば らしく、立山曼荼羅の神秘的なお話や豊富な富山の幸、 佐伯さんのチャレンジ精神等、具体的に子どもたちに伝 えられる内容が増え、とても有意義な時間となりました。

また、福江先生と吉田さんの音楽、佐伯さんの生き方 等から、リラックスとエネルギーをもらったように感じまし た。あまり片肘を張らず、手は抜かず、謙虚に子どもたちと 向き合い、過ごしていきたいという思いを強くしました。 貴重な体験となりました。ありがとうございました。

富山の魅力発見講座で学んだこと

高岡市立高陵小学校 教諭 塚田 真由

今回、富山の魅力発見講座に参加させていただき、充 実した時間を過ごすことができました。「立山の歴史と文 化」の福江先生のご講話で印象に残っているのは、「立 山曼荼羅図」についての話です。立山曼荼羅図の中に は、いくつもの物語が織り交ぜられていること、この図を 現代と照らし合わせてみると重なる部分が多くあること 等、興味深い話を聞くことができました。また、現代で起 きていることを昔の人が描いていることに驚きました。富 山の教員として立山の歴史・文化を知ることは、子供たち にも立山だけでなく、富山県の魅力を伝える上でとても 大切なことだと感じました。

「立山、そしてエベレストへの挑戦」についての佐伯さ んのご講話では、夢をもつことの素晴らしさ、あきらめな い強さをもつことの大切さを学びました。私のクラスに は、やる前にできないと決めて活動に参加しようとしない 子供がおり、始めからあきらめるのではなく、目当てをもっ て活動に取り組んでしてほしいと日々感じています。この 講話で学んだことを生かし、子供たちには夢や目標をも つことのよさを伝え、楽しく充実した毎日を過ごせるよう に指導していきたいです。



富山の魅力発見講座を受けて

高岡市立下関小学校 教諭 折田 絢音

私は富山で生まれ育ったため、立山登山をしたり総合 的な学習の時間で立山について調べたりと、昔から立山 は身近な存在でした。今回の講座で、立山にまつわる講 話を拝聴し、改めて立山のよさを実感するとともに新た な立山の魅力を知ることができました。

佐伯さんの講話からは、夢の叶え方や諦めずにチャレ ンジすることの大切さを学びました。夢を語ることは簡 単ですが、実際に行動し実現させることは決して簡単で はないと思います。エベレストに登頂するまで多くの困難 に直面された佐伯さんのエピソードは、辛いことが重な り教師になる夢を諦めかけていた過去の自分と重なると ころがあり、とても印象に残りました。

また、富山の食材を使ったお料理もとても美味しく、子 供たちにも「食」を通して富山の魅力を知ってほしいと思 いました。

富山の魅力発見講座を受けて、多くのことを学びまし た。これらの学びを、これからの富山の未来を担う子供 たちに伝えていきたいです。



PART2

教育文化事業

\$	文化振興助成	;	49
8	文化講演会「	「富山の魅力発見講座」	54

令和6年度 文化振興助成要項

青少年の健全な育成を目的とした、文化・芸術・スポーツの振興に資する事業、 並びにこれに準ずると認められる事業の展開にあたる社会教育団体等からの申請に 対して、事業規模と内容に応じて助成する事業です。

- 1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部
- 2. 助成要件
- (1) 助成の趣旨
 - ・富山県の社会教育団体等が令和6年度に行う青少年の健全な育成を目的とした、文化・芸術・スポーツの振興に資する有益な事業を対象とした助成を通して社会教育の向上発展に寄与します。
 - ・申請に対し1件につき3万円~10万円程度を助成します。
- (2) 助成の対象にならないもの
 - ① 営利目的、または営利につながる可能性の大きいもの
 - ② 他の機関からの委託によるもの
 - ③ 既に終了しているもの
- (3) 応募対象

社会教育団体等(富山県内で活動する非営利団体、グループ)

- ① 応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び報告を行うことを条件とします。
- ② 1年間(4月1日から3月31日)で完了する研究・活動等とします。
- (4) 応募期間 令和6年4月1日(月)~令和6年5月31日(金) 必着
- (5) スケジュール

令和6年6月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。 7月上旬 採否の結果と助成時期を通知します。

11月中旬 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。

- 3. 申請について (WEB申請可能です) 2、3 ページ参照
- (1)「文化振興助成申請書」を計画資料と団体の規約を添えて提出しください。
- (2) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。
- (3) 適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- 4. 選考基準について

事業の助成要件等により、選考を行います。

- 5. 報告について (WEB報告可能です) 2、3 ページ参照
- (1) 活動内容と成果、助成金の主な使途についての報告を提出してください。
- (2) 領収書のコピーも必ず添付してください。尚、<u>領収書は助成額以上</u>となるようお願いします。
- (3) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。また、成果資料等があれば添付してください。なお、成果資料等は支部が公表できるものとします。
- 6. **報告の提出日** 令和7年2月28日(金)までに提出してください。
- 7. 送付先(問い合わせ先) 〒 939-8084 富山市西中野町 1-1-18 オフィス西中野内 公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 Tax (076) 464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

文化振興助成申請書

下記のように文化事業を展開するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙計画 資料を添えて申請いたします。

記

- 1. 事業名
- 2. 開催期日
- 3. 主催者名
- 4. 後援者名
- 5. 参加者数及び内訳
- 6. 総事業費
- 7. 計画資料 (別紙)
- 8. 組織規約(別紙)

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

に添付して送信してください

文化振興助成申請書

下記のように文化事業を展開するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙計画 資料を添えて申請いたします。

記

1. 事 業 名 第△△□ ○○展覧会

3. 主催者名 高岡〇〇教育文化研究会

4. 後援者名 富山県小中〇〇研究会 ※ない場合は「なし」と記入

5. 参加者数及び内訳 1,000 名(教職員 100 名、児童生徒 300 名、保護者 600 名)

7. 計画資料 (別紙) ※様式は自由 (①活動内容②経費内訳が分かるもの)

8. 組織規約 (別紙)

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

文化振興助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 団体名

代表者 職 名

氏 名

印

連絡先(TEL)

下記のとおり領収書を添えて報告します。

事	業	名		
開	催期	日		
助	成金	章 額		
活成	動内			
助	成金	· の		
l	途明		(計	円)

文化振興助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 高岡市○○-△

団体名 高岡○○教育文化研究会

代表者 職 名 会長

氏名 入善 一郎

連絡先(TEL) 0766-(

0766-00-000

下記のとおり領収書を添えて報告します。

事業名 第△△回 ○○展覧会 押印後、PDFファイルにしてフォームに添付して送信してください	1 11007 (00 7		」WEB報告の場合
助成金額	事 業 名	第△△回 ○○展覧会	押印後、PDFファイルにしてフォーム に添付して送信してください
1. 活動内容 (1) (2) (3) 活動内容と 成 果 2. 成果 	開催期日	令和 6 年△△月△△日(木)~△△月△△日(月)	
(1) (2) (3) 活動内容と 成 2. 成果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	助成金額		
助成金の ・表彰盾 △△△円 使途明細		(1)(2)(3)	
			(₹↓

〈添付書類〉 ・領収書(コピー)を A4 用紙に貼付してください。

・成果資料「活動のまとめ」等

WEB報告の場合:報告書および添付書類は PDF 形式にてフォームより送信してください。



場所



滑川市民交流プラザ 多目的ホール

滑川市吾妻町 426 番地 TEL 076-476-5500 参加対象

35歳以下の教職員

定員

40名

参加料

無料

カードゲーム(例)

「CHANGE FOR THE BLUE カードゲーム」

・「仕事」と「生活」のアクションを選択することで、10年後に美しい海を取り戻すプロジェクトに取り組むビジネスゲーム。

他責になりがちな海洋ごみ問題を自分ごととして 捉え、まちの海に溢れる「ごみ・汚れ」をゼロに することを目指すゲームです。

「ゲームのコンセプト」

・当事者意識とコミュニケーションの学び



申込について

5月上旬に参加申し込み用のチラシを配付しますので、富山支部ホームページの申込フォームから申し込みをしてください。

[これまでの講座紹介] 参加ありがとうございます。

2017年 富山の魅力発見講座 I 50名参加 高志の国文学館 2018年 富山の魅力発見講座 II 62名参加 ㈱能作本社 2019年 富山の魅力発見講座 II 61名参加 呉羽ハイツ

2020年 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2021年 富山の魅力発見講座IV 62名参加 八尾観光会館 2022年 富山の魅力発見講座V 45名参加 フェルヴェール本店

2023年 富山の魅力発見講座VI 33名参加 富山地鉄ホテル

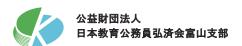
講師:米原 寛氏(元富山県立博物館長) 講師:能作 千春氏(産業観光部長)

講師:川田 直子 氏(元ディズニーキャスト)

講師:原井紗友里 氏(八尾の若女将)

講師:川田 直子 氏(元ディズニーキャスト) 講師:福江 充 氏(北陸大学教授)

講師:佐伯 知彦 氏(登山ガイド)



〒 939-8084 富山県富山市西中野町 1-1-18 (オフィス西中野内) TEL 076-464-3703 FAX 076-464-9818



よつば先生とその仲間たち

PART3

奨 学 事 業

\$	貸与奨学生募集		55
\$	給付奨学生募集		57
\$	大学給付奨学生	(予約型)募集 ······	61

令和6年度 貸与奨学生募集要項

勉学意欲がありながら経済的理由により修学困難な学生に対し奨学金を貸与する事業です。

- 1. 募集対象 大学院、大学、短期大学、高等専門学校(第4学年以上) 及び専修学校専門課程に入学または在学者
- 2. 募集人数 若干名
- 3. **貸与金額** 4年制大学 100万円 短大(2年制) 50万円
 - *修業期間1年につき25万円を1人100万円を限度に無利息で貸与します。

【貸与例】

- ・4年制大学の2年生に貸与した場合(残存修業期間は2~4年生の3年間)25万円×3年間=75万円まで貸与可能
- ・2年制短期大学卒業後4年制大学の3年生に編入した場合(残存修業期間は3~4年生の2年間)

25 万円×2 年間=50 万円まで貸与可能

- ・ 4 年制大学で 2 年生の時に 75 万円を貸与した奨学生が、大学院修士課程に進学した場合 <u>すでに 75 万円貸与しているので、貸与上限 100 万円 75 万円</u> = <u>25 万円</u> まで貸与可能
- 4. 貸与方法 一括貸与します。(6月下旬の予定)
- 5. **返還方法** 卒業した年の 12 月から 10 年にわたる分割返済です。 (100万円未満は 8 年分割返済)
 - *大学院に進んだ場合は、返済延期手続きは可能です。
 - *年賦返済金が延滞したときは、延滞金を徴収します。
- 6. 申込期間 令和6年2月20日(火)~令和6年4月30日(火)までです。
- 7. 申込方法 本会事務局へ電話でお申し出ください。

その後、「貸与奨学金申込書」を提出してください。

[添付書類]申込書のほか、以下の書類が必要です。あらかじめご準備ください。

- ・収入に関する証明書「源泉徴収票又は市町村の所得証明書(コピー可)]
- 在学証明書「原本]

8. その他

- ・債務者は奨学生本人です。連帯保証人は親族(4 親等以内の成年者)等とし 連帯債務を負います。
- ・申請書類には、奨学生本人と連帯保証人のそれぞれの自署捺印が必要です。
- ・同一筆跡の場合は受理できませんのでご注意ください。
- 9. 選考と決定 教育振興選考委員会で審査のうえ、決定します。
- 10. 送付先 (問い合わせ先) 〒 939-8084 富山市西中野町 1-1-18 オフィス西中野内 公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 Tb(076)464-3703

貸与奨学金申込書

令和 年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 様

貴会の貸与奨学金を受けたいので、申し込みます。

また、下記「個人情報の取扱いについて」の事項を確認し了承しました。

	フリガナ			性	別		生	年 月 日		
	氏 名		(FI)	男・	女	平成	年	月	日(満	歳)
生徒	在学校名		高等学校 高等専門学校 学校	Ė	学年					
	入学予定学 校名							年制		
	フリガナ					性 別		生徒	との続柄	
	氏 名			(FI)		男・女				
並日	現住所	₹				自宅		()	
親権者	現性別					携帯電	話	()	
有		名 称								
	勤務先	所在地 〒								
						TEL		()	
備	考									

- (注) 1. 印鑑は生徒と親権者で、それぞれ別の印鑑を使用してください。
 - 2. 備考欄には申込に当たっての特別な事情があれば記入してください。

家族記入欄(生徒本人は除く)

続柄	氏	名	性別	年齢	勤	務	先	等	備	考

- ※「個人情報の取扱いについて」
 - ●当会は、適正に取得した個人情報を当会の奨学事業の運営のために利用します。
 - ●当会の個人情報の取り扱いについては、当会ホームページ (https://www.nikkyoko.or.jp) をご覧ください。

	No.	年	月	日
受 付				

令和6年度 給付奨学生募集要項

1. 応募資格

富山県の高等学校(特別支援学校の高等部を含む)に在籍する第3学年の生徒とし、 修学意欲がありながら、学資金の支払いが特に困難である者。

2. 推薦の条件

- (1) 家庭の事情で経済的援助が特に必要であること。
- (2) 向学心に富み学業に耐えうる者であること。
- (3) 生徒会活動(部活動も含む)に意欲的な者であること。
- * 他の奨学金との併給も可。

3. 奨学金給付の内容

- (1) 給付金額 奨学生一人に対し10万円を給付します。
- (2) 募集人数 40名

4. 応募の手続き

- (1) 提出書類
 - ①給付奨学生申請書・・・・・・・・・・・(給奨学様式1)
 - ②高等学校等給付奨学生推薦書(学校用)・・・・(給奨学様式 2)
 - ③成績証明書・・・・・・・・学校の様式で厳封したもの
- (2) 応募期間 令和6年4月1日(月)~令和6年5月31日(金) 必着
- (3) 書類提出先

〒 939-8084 富山市西中野町 1-1-18 オフィス中野内 公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 宛 TEL 076-464-3703 FAX 076-464-9818

*個人情報保護との関わりもありますので、取扱・送付に十分ご配慮願います。

5. 奨学生の選考

富山支部の教育振興事業選考委員会の選考を経て、支部長が推薦し本部理事長が決定した結果を、学校長経由で本人へ通知します。

6. 給付金交付

給付金は、学校長より生徒本人(親権者同伴)に手交します。

7. 成果報告書の提出

奨学金の給付を受けた者は給付後1月末日まで、学校を通して給付奨学生成果報告書(給奨学様式3)を富山支部長に提出することとします。

8. 奨学金の返還

奨学生が、次の事項のいずれかに該当したときには、ただちに給付金を返還するものとします。

- (1) 休学または退学したとき
- (2) 奨学生としてふさわしくない行為のあったとき

※ (給奨学様式1)

決定番号					
決定 年月日	令和	年	J	1	日

給付奨学生申請書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 理事長 岩田 將之 様 富山支部 支部長 青木 正邦 様

貴会募集の高等学校等給付奨学生としてご採用いただきたく、申請します。また、下記「個人情報の取扱いについて」の事項を確認し了承しました。

	フリガナ		性 別		生年月日	
生	氏 名		男・女	平成 年	月 日	(満 歳)
徒	学校名	高等学校 高等専門学校 専修学校高等課程 その他	定時・通信・ ・別科・他 学年	令和 令和	年 入学年 卒業見	也
	フリガナ		 		性	別
親 権 者	氏 名			F	男 •	女
者	現住所	〒		TEL (()	
給付申請 金額			その他	所得証明書(前年 申告「写」まただいただく場合があ	は納税証明書等)	
備	考					

- (注) 1. 生徒欄は奨学生本人が自署してください。
 - 2. 親権者欄は親権者本人が自署してください。なお、申請時の年齢が18歳以上の場合、身元保証人について記入してください。
 - 3. 備考欄には、申請に当たっての特別な事情を記入してください。
 - 4.「個人情報の取扱いについて」
 - ●当会は、適正に取得した個人情報を当会の奨学事業の運営のために利用します。
 - ●当会の個人情報の取扱いについては、当会ホームページ(https://www.nikkyoko.or.jp) をご覧ください。

推薦	区 分
指 定 枠	特別枠

年 月 日

*指定枠・特別枠の いずれかに○を付けてください。

高等学校等給付奨学生推薦書(学校用)

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 理事長 岩 田 將 之 様富山支部 支部長 青 木 正 邦 様

学校名	
松長名	職印

下記の生徒を貴会の高等学校等給付奨学生として推薦します。

記

学	年	笋	3	学	石	=							
		ਨਾ				_							
氏	名												
住	所												
親権者	舌氏名 ※												
他の奨学	学金 (給付	十)の有無		7	有)		無
	生徒会活動												
+□ ग	á者 職名·	. 丘 夕		ಾ	į	名		担	当	者	氏	名	
担目	日	八石											
							電話番	号:	()		_	

※申請時の年齢が18歳以上の場合、身元保証人について記入してください。

給付	
決定番号	

給奨学様式 3

給付奨学生成果報告書

令和 年 月

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 理事長 岩 田 將 之 様 富山支部 支部長 青 木 正 邦 様

フリガナ			=			
		学生				
	印	住所				
				TEL	()
			奨学金の主	な使途		
-	高等学校		給付金額	(例)学習教材	費 10 万円等	
学校名	高等専門 支援学校	7子仪	10万円			
	その他					
学習成果報告(400 文字程度)						
※奨学金の使途、今後の進路	(予定)	、抱負な	さどについてご	記入ください。		

学校を通して公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部に1月末日まで提出してください。 ご報告いただいた内容は広報誌やHPで公開させていただくことがあります。

令和6年度 大学給付奨学生(予約型)募集要項

1. 応募資格

富山県の高等学校等に在籍する第3学年の生徒で、修学意欲がありながら学資金の支払いが特に困難と認められる者。

2. 求める学生像

将来、社会の発展に貢献したいという高い志のもと、自らの夢や目標を明確にもち、その実現に向け学び続ける者。

3. 推薦の条件 次の全ての要件を満たすこと

- (1) 県内高等学校等の最終学年又は高等専門学校第3学年に在学し、全国の国公私立大学(<u>通</u>信教育の学部・課程、短期大学、大学校は対象外)に進学を目指す生徒であること。
- (2) 家庭の事情により学費支弁困難(<u>同一生計の収入合計金額400万円未満</u>)と認められ、かつ修学意欲に富み、かつ学業を継続できると在学する高等学校等の校長の推薦を受けた生徒(1校1名まで)であること。
- (3) 在学期間における全体の学習成績の状況(評定平均値)が4.0以上の生徒、又は特別支援学校高等部にあっては、校長が同程度の学力があると認める生徒であること。

4. 奨学金給付の内容

- (1)給付金額 奨学生一人に対し月額3万円を給付します。(年4回振込、上限4年間)
- (2) 募集人数 4名
- (3) 実施期間 令和6年度大学入学生から令和9年度大学入学生までの4年間実施

5. 応募の手続き

- (1) 提出書類 ① 大学給付奨学生(予約型)申請書 ② 申請者情報及び身元保証人確認書
 - ③ 個人情報の取扱いに関する同意書 ④ 世帯全員の所得証明書
 - ⑤ 大学給付奨学生(予約型)推薦書 ⑥ 成績証明書 ※⑤⑥は学校作成 弘済会富山支部ホームページを参照願います。
- (2) 応募期間 令和6年8月1日(木)~令和6年9月13日(金) 必着
- (3) 書類提出先

〒939-8084 富山市西中野町 1-1-18 オフィス西中野内 公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部 宛 TEL 076-464-3703 FAX 076-464-9818

6. 奨学生の選考

富山支部の選考委員の第1次選考(書類選考)、第2次選考(面接選考)を経て日本教育公務 員弘済会理事長が奨学生内定者を選定し、高等学校等を通じて生徒本人に採用内定通知書を手交 します。

7. 奨学生の採用決定

入学1年目の4月20日までに奨学生内定者が提出すべき書類(進学した大学の在学証明書、 誓約書、振込依頼書)を提出した後、採用決定通知書が送付されます。

大学給付奨学生(予約型)申請書

(大給奨学様式1)

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 理事長 様

1. 申請者(本人)情報

_												
1.		フリガナ				生年月日 (年齢 歳)						
名	前					西曆	年	月	日生			
		国立・私立							課程			
学 	学校名 ()立								科			
学	内外 o	活動・特技・資	資格									
	当会	その貸与奨学金		□申請予定 □□	申請しない 口	未定						
2. 同-	一生計	の家族及びその	収入・所	「得に関する調査	に関する調査							
	生計人数	\ ※下記項目に記入する人数レ一致させてください \・										
就				収入・所得金額(年間)※正確に記入してくださ								
学	続柄	名前	年齢	給与収入		年金等収入		事業所得等				
就学者を除				(年間収入(支払)金額)		(年間収入(支払)金額)	(所得証	(所得証明書の所得金額)				
除く家族					万円	万円			万円			
					万円	万円			万円			
(父 母					万円	万円			万円			
4 祖 公					万円	万円			万円			
父母等)				※収入・所得は	世帯全員の金額を	・ 1 万円単位(千円以下切り指	・ () で記入	、してく	ださい。			
()				なお、本人・兄弟姉妹(就学者に限る)のアルバイト収入は含めません。								
	続柄	名前	年齢	◇設置者	◇就 学 先 ※2			◇ì	通学状況			
±1,	本人	_	_	国公立・私立	高•	高専・専修高等・その他		自宅	・自宅外			
就学者				国公立・私立		中・高・高専・専修高等 i大・大学・大学院・その	目宅・目宅					
- (兄弟姉				国公立・私立	小・ 専修専門・短	他()	自宅	ビ・自宅外				
妹)				国公立・私立		ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	自宅・自宅外		· 自宅外			
				国公立・私立		中・高・高専・専修高等 :大・大学・大学院・その	他()	自宅	ど・自宅外			
	下記	下記の事項に該当する場合は、□にチェックを入れて< >内に続柄・人数・金額を記入してください。										
家庭		一人親世帯である又は養育者がいない										
事] 主たる家計支持者(父母等)が単身赴任している 続柄< >										
情		同一生計の家	族に障か	族に障がいのある者がいる < >人 続柄< >								
等		同一生計の家族に長期療養を必要とする者がいる < >人 続柄< >										
		見込負担額< >万円(年間)										

- ※1 申請番号欄は事務局側で使用するので、記入しないでください。
- ※2 特別支援学校の場合には、該当する小・中・高等を選択します。
- ※3 この申請書は、申請者(本人)が手書きで記入します。

※1 申請番号

3. 志望大学・学部・学科

第1志望	大学	学部	学科
第2志望	大学	学部	学科
第3志望	大学	学部	学科

4 — 1.	大学給付奨学金を必要とする理由 程度で記入してください)	について(経済的な事情や説明を要す	ると思われることを 300 字
4 — 2.	将来の希望(進路)や目標、大学 てください。)	で学びたいことや努力したいことにつ	いて(300 字程度で記入し

大学給付奨学生 (予約型) 推薦書

公益財団法	長人 日本	数音公路	3引.溶会	理事長	支梯			令和	年	月	E
→ III × 1 ⊡ 12		·4X H 24775	R MIN A	Z 7 1	C 13C	<u>学校</u>	名				
						校長	名			公印	
下記の	生徒を貴	会の大学約	合付奨学	生として	「推薦いた						
					記						
推薦する生								T			_
フリガナ								第	学	年	
名前							学年	(年次)	
H 13-3								(年度	入学生)	
※高等学校	なにおける	る全体の学 直近までの 強度につい	の成績証	•			こついて				
3. 本人の	学校内外	の活動(特	別活動、	部活動、	ボランテ	ィア活動	動、取得資	译格、検 定	三等)に	ついて	
4 7 0 0	ο Muk 숙기 = Β΄ ΤΡ΄	₹₩₩ (♣⇒↓J	L \AT [1]()	27 01 17	こく 仕下を) へ	か並)					
4. その他	2. 作 記事項	等(家計)	大况等) 。	について	、(記載は	社意)					

※ 上記2から4について、1枚に収まらない場合は裏面に記載することも可

